

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力 シュロアバード行政郡ダシュティジウム村災害リスク低減計画

平成28年6月9日、「シュロアバード行政郡ダシュティジウム村災害リスク低減計画」の供与式典が行われました。供与式には、シャムシッディーニー・ショーヒン行政郡副郡長をはじめ大勢の地域の人々が参席しました。式典中、同行政郡副郡長から日本の支援に対して大きな感謝が述べられました。

本計画実施対象となった、シャムシッディーニー・ショーヒン行政郡ダシュティジウム村は、ドウシャンベ市より南東へ車で約5時間のところに位置します。同村の西側は険しい山岳地帯となっており、山から村を南北にへだてるようにカディオブ川が流れています。同村では大雨などによりカディオブ川が増水し洪水被害が頻発し、過去には100世帯以上もの家屋が流されるなど深刻な問題を抱えていました。

今般本計画を通じ、洪水被害のリスク低減を目的とした水路及び歩道橋を建設したことにより、ダシュティジウム村の住民約3,200人が安全な環境で生活ができるようになり、天候に左右されずに村内外間の移動が可能となりました。

※なお、シュロアバード行政郡は2016年2月に、シャムシッディーニー・ショーヒン行政郡に改名されました。



供与式にてテープカットを行う沖本書記官及びシャムシッディーニー・ショーヒン行政郡副郡長。



本計画を通じ建設された水路。この水路により洪水被害が低減されました。



本計画を通じ建設された橋。この橋により雨天時の村内の移動が容易になりました。



橋の入り口には、日本の支援を示す日章旗プレートが設置されています。